

興味広がり深まる交流

学年に応じた目標を定め、文章を読みこなす力や情報を取捨選択する力を磨いている。担当の作井由希乃

貼り出した記事を通して互いに交流を深める児童 ー鹿屋市の笠野原小学校



笠野原小学校（鹿屋市）

教諭（32）は「興味や関心が広がり、学力定着にも一役買っている」と強調する。

実践校4年目。委員会活動に取り入れる点も特徴的だ。放送委員は学期ごとに、興味を持った記事を校内放送で紹介する。「県外の食品ロス対策」を選んだ6年本白水香奈さんは「世の中で注目される取り組みが分かる記事が好き」。

切り抜きや感想文を校内で貼り出す広報揭示委員会の6年小野桃華さんは「友達に文章を褒められた」と笑顔。同級生の新駿河龍斗君も「いろいろな出来事を知り、家族と話せるようになった」と手応えを口にした。（中咲貴絵）

かごしま NIE実践校

コラムで起承転結学ぶ

実践校4年目。キャリアアップコースの1～3年生約90人が毎日、1面コラム「南風録」を書き写す。社

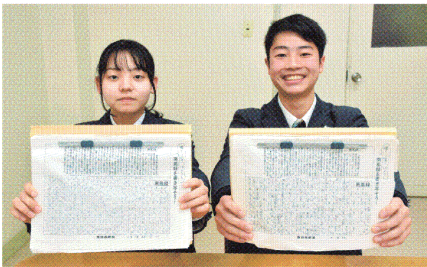
会の動きやキーワードに敏感になると同時に、起承転結を学び、自分の型を見つける狙いだ。

要点をまとめたり、分からない単語を抜き出したりするワークシートを学年ごとに活用。企業や地域の課題を考える活動では、関連記事を探して参考にする。

1年下園かなえさんは「書くのが速くなり、授業の理解度が上がった」。鬼塚悠人^{はると}さんは「テストで文章で答える時、言葉をまとめるのに生かされている」と手応えを感じる。小田仁美教諭（41）は「新聞を読むことが日課になり、3年間で大きな成長につながった」と話した。

（田上恵以）

南風録を書き写したワークシートを見せる生徒たちー薩摩川内市のれいめい高校



れいめい高校（薩摩川内市）